

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	土木建築部 公園・生活排水課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	大洲総合運動公園 大分県立フェンシング場	施設種別	レクリエーション・スポーツ
	所在地	大分市青葉町1番地		
	設置目的	スポーツ・レクリエーション活動の場として、また県民の憩いの場として、県民の健康と体力の維持増進・スポーツ振興を図ること。		
指定管理者	名称	ファビルス・プランニング大分共同事業体		
	代表者名	代表団体 株式会社ファビルス 代表取締役 野田 太		
	所在地	福岡市博多区博多駅前1丁目1-1		
指定管理業務の内容	<p>(大洲総合運動公園)</p> <p>①公園施設の維持管理及び修繕に関すること。 ②都市公園の利用の受付及び案内に関すること。 ③有料公園施設の利用の許可に関すること。 ④都市公園の利用の促進に関すること。 ⑤その他知事が特に必要と認めること。</p> <p>(大分県立フェンシング場)</p> <p>①フェンシング場の維持管理及び修繕に関する業務 ②フェンシング場の利用の受付及び案内に関する業務 ③フェンシング場の利用の許可に関する業務 ④フェンシング場の利用の促進に関する業務 ⑤その他教育委員会が特に必要と認める業務</p>			
料金制度	使用料			
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)			

2 評価結果

評価項目	
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	
(1) 施設の設置目的の達成	県の評価基準
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。	都市公園として適切な維持管理を行う。 目標指標である、公園利用者数200,000人以上、使用料収入17,400,000円以上を共に達成する。
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。また、複数の施設を一括して管理する場合は、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。	施設の特性等を踏まえ、利用者の利便性向上に努める。
③施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	SNSを活用し、公園の魅力発信を行う。
【評価の理由】	
① 都市公園として安全・安心で過ごせるように、県と連携しながら適切な維持管理を行った結果、公園利用者数については、目標値200,000人に対し、計225,060人を達成(達成率112.5%)した。また、使用料収入についても、目標値17,400,000円に対し、計22,250,729円(達成率127.9%)と目標を上回った。	
② 硬式野球場には観る質の高い野球を誘致、屋内で多様な利用が可能なフェンシング場は空き時間を活用して各種教室を誘致する等、施設ごとの特性、位置づけを整理して利用者のニーズとの整合を図り、設置目的に沿った有効利用に努め、利用者の増加を図っている。また、屋内施設のフェンシング場と利用者の大部分が重複する総合体育館の受付を総合体育館で実施する等、県・市、所管課の枠を超えた有機的な連携を図っている。	
③ インスタグラムのアカウントを新たに開設し、イベント等の広報活動を積極的に行っている点は評価できる。	
(2) 利用者の満足度	県の評価基準
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	設備・職員満足度の「大変良い～普通」の回答率について、それぞれ9割以上を目指す。
②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	アンケート結果の分析結果を分析し、改善に向けた必要な対策を実行する。
③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。	苦情が発生した際は、速やかに対応を行い利用者の理解を得る。また、再発防止策を講じる。
④利用者への情報提供が十分になされたか。	SNSを積極的に活用し、利用者の確保につなげる。
⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。(①～④以外に評価できる取り組みがある場合のみ)	有料施設の利用を阻害することなく、全体の6割を占める無料施設の活用を図る。

【評価の理由】

- ① 「大変良い～普通」の回答割合について、設備満足度は99.88%、職員満足度は99.94%であり、高く評価できる。
- ② アンケート調査結果を基に、県との情報共有を密にしなが、利用者満足度の向上に努めている点は評価できる。
- ③ 苦情が発生した際には必要な対応を速やかに実施しているほか、県に随時報告・相談を行っており、評価できる。
- ④ 大洲総合運動公園のHPにおいて、イベント情報の積極的な広報を行なうなど、利用者の確保に向けた取り組みは評価できる。
- ⑤ 常連の利用者の利用を阻害しないように、駐車場に余裕があり、かつ目標の集客を見込める日を選定して、キッチンカーのイベント等を誘致し、園路の活用を図っている。

(3) 定性的な目標の達成

県の評価基準

① 定性的に定めた目標が達成されているか。(将来ビジョン等で定めた目標など)

誰もが安心・安全に利用でき、地域と共存した公園としての管理運営を行う。
ネット予約システムと連動したアンケートを実施する。

【評価の理由】

- 県と協働して、障がい者駐車場のバリアフリー改修に向けた取り組みを実施(R5年度整備完了予定)。また、R3年度に大洲独自のネット予約システムで
- ① アンケート機能を追加した結果、アンケート回収数が増加している。寄せられた要望・苦情については、(1)安全、(2)利用者や周辺への被害、(3)施設保全、(4)利用の便宜、(5)その他の優先順位を付け、有効な対策を講じている。

2 効率性の向上等に関する取り組み

(1) 経費の低減等

県の評価基準

① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。

経費削減のため、予防保全を前提とした取り組みを実施する。

② 主たる管理業務以外(清掃、警備、設備の保守点検等)について、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。

適切な水準を維持できる業者を選定しながら、経費の削減を実施する。

③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

利用者の要望を把握した上で、効率的な経費執行を行う。

【評価の理由】

- ① 野球場外野定位置の芝が大きな損傷を受ける前に移植(ローテーション)し、経費の低減に努めている。
- ② 警備業務について、ファビルス大分支社の職員が直営で行い、緊急時にも指定管理者との連携が密に取れるような体制を取っている。
- ③ 細かな消灯を行うなど、職員全体で経費削減に努めている。

(2) 収入の増加	県の評価基準
①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	利用者満足度の向上により、収入目標額(17,400,000円)を目指す。
【評価の理由】	
① ソフトバンク甲斐選手の自主トレーニング誘致等により利用の空白を埋めることや、入場料を徴収する大会等の誘致に努めたほか、フェンシング場の多様な活用により、22,250,729円(達成率約127.9%)の使用料収入を確保し、目標額を上回ったことは高く評価できる。	
3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み	
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況	県の評価基準
①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。	管理元が異なる中でも、効率的な運営を行う。
②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。	緊急時の対応訓練やスタッフ研修を都度実施する。
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	地域の声を管理運営に反映させるほか、地域や各団体との連携・協働を維持する。
【評価の理由】	
① フェンシング場(県教委体育保健課管理)の受付を利用者の多い隣接する総合体育館(大分市スポーツ振興課管理)で行うなど、合理的な人員の配置を行っている。	
② 日頃から緊急時の対応訓練やスタッフ研修等を実施している。また、SNSを活用している受付職員に「広報」という配置を新設、兼務させて広報活動を活性化させている。	
③ 周辺住民、自治会及び関係各種連盟等からの聞き取りを管理運営に反映させている。また、地域住民との協働で公園内の清掃活動等を実施しており、令和4年度は企業や学校機関などの計4団体と協働で清掃活動を行っている。さらに、高校野球大分大会の入場券を近隣住民に配るなどの取り組みもしている。併せて、公園イベントの案内を近隣自治会の回覧板に加える等により、地域とのつながりを図っている。	
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	県の評価基準
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。	法令違反を発生させない。
②施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	個人情報漏洩等の事故を発生させてない。
③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。	特定の個人団体を排除しない。 (国や県等からの要請に基づくものは除く)
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。	モニタリングの結果、不適切な事案が確認されない。
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	管理側の瑕疵による事故を発生させない。
⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。	各種マニュアルを整備し、体制を確保する。
⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。	防災訓練を年に1回行う。

⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	事故等発生時には適切な対応を行い、管理責任を問われる事象を発生させない。
【評価の理由】	
① 労働基準法や36協定を遵守し、大会等が多い月の時間外労働に対応するための「特別条項協議」を実施している。	
② 個人情報保護規程を整備し、個人情報の厳格な保管、不要な個人情報の適切かつ速やかな廃棄について指導、実施している。	
③ 県・市の承認、関係連盟等の合意に基づく優先順位に従って関係連盟等参加による調整会議を経て年度計画を作成している。	
④ 施設の管理運営に対する収支は、毎月提出される事業報告書において適切に処理されている。	
⑤ 修繕等は、要望・苦情と同様に優先度に応じて行い、常に公共性を念頭に置き適切に対応している。	
⑥ 早朝、夜間の警備による巡回、開園時の職員による巡回、各種作業時の安全監視、さらに休園時の機械警備による監視態勢を維持している。	
⑦ 自衛消防組織があり、年2回消防訓練を行っている。また、消防訓練時に南海トラフ地震の津波を想定した防災・避難訓練も実施し、公園利用者や通行人にも可能な限り参加を呼びかけている。	
⑧ ファビルス大分支社が緊急時のバックアップ拠点となり、非常災害時の対応を取るようになっている。	

【総合評価】

〔所見〕

- 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の全国的な行動制限緩和の動きによる団体利用者の増加や新規団体誘致等により、公園利用者数については、目標値200,000人に対し、計225,060人を達成(達成率112.5%)した。また、使用料収入についても、目標値17,400,000円に対し、計22,250,729円(達成率約127.9%)と目標を上回ったことは評価できる。
- 令和4年度は初めて東都大学野球リーグを誘致したことにより、利用者が大きく増加した。これは、大会主催者と指定管理者間で密に連絡を取り合い、指定管理者が適切な指導・助言を行った結果、大きなトラブルもなく終了したものであり、評価できる。
- アンケート調査における「大変良い～普通」の回答割合について、設備満足度は99.88%、職員満足度は99.94%であり、高く評価できる。
- 高校野球大分大会の入場券を近隣住民に配るほか、公園イベントの案内を近隣自治会の回覧板に加える等、地域とのつながりを図っている点は評価できる。

〔今後の対応〕

今後も常に利用者の声を吸い上げ、現状及び今後の問題点を抽出し、利用者目線の施設運営を実現してほしい。
また、新規団体誘致など、大洲総合運動公園の更なる魅力発信に期待したい。

【指定管理者評価部会の意見】

【評価】

1. 施設予約システムと連動したアンケートの実施により、回収率を増加させたことは高く評価できる。

【意見】

1. SNSによる情報発信を業務の一つとして位置付け、時間を確保した上で対応すべき。(空き時間に対応するのではなく、広報戦略の一つとして組織的に取り組むべき。)

【施設所管課に対する意見】

1. フェンシング場で行っている自主事業(ダンス等)は、施設の特性を活かした利用拡大の取り組みであり、これによる3,000人超の利用者数増は評価すべき実績と考える。